

借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展



「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW

リアル ファンタジー フュージョン
現実と虚構を融合させる。

開催趣旨

スタジオジブリ制作のアニメーション映画「借りぐらしのアリエッティ」(2010年7月公開)で描かれた小人の世界が、巨大なセットとして兵庫県立美術館の展示室に出現します。セットを制作するのは今最も注目されている映画美術監督・種田陽平。彼は、「キル・ビル Vol.1」、「THE 有頂天ホテル」、「フラガール」など、数々の話題作を手がけ、国内外で高い評価を受けている美術監督です。

暮らしに必要なものを人間の家から借りてくる「借りぐらし」を営む小人の少女アリエッティとその両親。映画「借りぐらしのアリエッティ」では、人間に見つからないように用心深く慎ましく、でも豊かに生きる彼らの生活と、アリエッティと人間の少年・翔との心の交流が鮮やかに描き出されました。

本展は、種田陽平が実写映画の技を惜しみなく注ぎ込みセットとして創り出したアリエッティの家の中に入り、その世界を体感していただくというものです。さらに、スタジオジブリの手による映画のイメージボードや背景画といった貴重な制作資料も原画で展示します。

また展覧会の後半では、映画全体の世界観を決定する上で重要な役割を担う「映画美術」に焦点を当て、美術監督・種田陽平がこれまでに手掛けた実写映画美術の多岐にわたる仕事を、場面写真やセットの模型などの資料でご紹介します。種田陽平の優れた創造力と芸術性が遺憾なく発揮されたこれらの展示を通して映画の世界観と魅力を存分に味わっていただけることでしょう。

- 会 期 等 平成 23 年 7 月 23 日 (土) ~ 9 月 25 日 (日)
休館日：毎週月曜日 (9 月 19 日 (月・祝) は開館、翌 20 日 (火) 休館)
開館時間：午前 10 時 ~ 午後 6 時 (金・土曜日は午後 8 時まで) 入場は閉館の 30 分前まで
- 会 場 兵庫県立美術館企画展示室
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1[HAT 神戸内]
Tel. 078-262-0901 (代) <http://www.artm.pref.hyogo.jp>
- 主 催 兵庫県立美術館、読売テレビ、読売新聞社

後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会

企画制作協力 スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

協賛 兵庫県学校厚生会

協力 A FACTORY、ホテルオークラ神戸

展示内容 映画美術監督・種田陽平による映画「借りぐらしのアリエッティ」のセット、種田陽平がこれまでに手がけた映画美術の資料、スタジオジブリによるイメージボード、背景画等のアニメーション映画制作資料。

観覧料金 一般 1,200 (1,000) 円、大学生 900 (700) 円、
高校生・65 歳以上 600 (500) 円、中学生以下無料
()内は前売りおよび 20 名以上の団体割引料金。(高校生・65 歳以上は前売り販売なし)
障害のある方とその介護の方 1 名は各当日料金の半額(65 歳以上除く)
コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要。(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)
前売券発売場所(平成 23 年 7 月 22 日(金)まで販売):チケットぴあ(Pコード:764-722)、ローソンチケット(Lコード:59649)ほか京阪神の主要プレイガイドなど

関連事業

(1) 記念トーク

「種田陽平×武重洋二 現実から虚構へ、虚構から現実へ 映画美術の世界」

出演 種田陽平(美術監督)、武重洋二(スタジオジブリ美術監督)

日時 7 月 23 日(土)午後 2 時~3 時

会場 ミュージアムホール(定員 250 名)

聴講無料

要申し込み 往復はがきにて申込み。往復はがきに 郵便番号 住所 電話番号 聴講希望者の氏名(4 名まで可)を記入し、「兵庫県立美術館トークショー係」まで郵送。(7 月 12 日(火)必着)

(2) 東日本大震災チャリティー映画上映会 (フィルム上映)

「フラガール」(2006 年)

日時 8 月 13 日(土)3 回上映(午前 10 時 30 分~、午後 1 時~、午後 3 時 30 分~)

会場 ミュージアムホール

料金 500 円

入場料は東日本大震災の義援金として寄付いたします。

「借りぐらしのアリエッティ」展実行委員会、兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会、
NPO神戸100年映画祭、(株)兵庫県映画センター、兵庫県立美術館芸術の館友の会 共催事業

(3) こどものイベント「小人のおうちを作ろう」

日時 8月28日(日) 午前10時30分～午後3時30分

会場 アトリエ2 小中学生とその保護者 30名 (応募者多数の場合は抽選)

参加費 500円(材料費・保険代)

保護者の方が参加される場合は別途観覧料が必要。

要申し込み 往復はがきにて申し込み。往復はがきに 郵便番号 住所 電話番号 参加者全員の氏名 学校名/学年を記入し、「兵庫県立美術館こどものイベント係」まで郵送。(7月29日(金)必着)

問い合わせ先: こどものイベント係 (078-262-0908)

(4) おやこ解説会

日時 8月20日(土) 9月17日(土) 午後1時30分～午後2時

会場 レクチャールーム 小中学生とその家族合わせて100名 聴講無料

(5) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 午前11時から約15分

会場 レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 担当学芸員 飯尾由貴子、服部正

TEL: 078-262-0909(直) FAX: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905(直) FAX: 078-262-0903

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

種田陽平 プロフィール



種田陽平

記憶に残る映画の世界観創出で定評のある美術監督。武蔵野美術大学油絵科卒業。在学中に寺山修二監督作品『上海異人娼館』に参加、映画界に入る。その後、相米慎二監督作品などに美術助手として参加。1986年、石井聰互監督『ノイバウテン：半分人間』で美術監督となる。以降、『スワロウテイル』『不夜城』（1998年、香港電影金像獎最優秀美術監督賞）『キル・ビル Vol.1』（米国美術監督協会最優秀美術賞ノミネート）『THE 有頂天ホテル』『フラガール』（2005年、毎日映画コンクール美術賞）『ザ・マジックアワー』『空気人形』『ヴィヨンの妻～桜桃とタンポポ～』（2010年毎日映画コンクール美術賞、日本アカデミー賞最優秀美術賞）『悪人』、舞台では『ベッジ・パードン』など話題作を多数手掛ける。「再現ではなく表現を、模写ではなく創造を」という取り組みが評価され、平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。映画の他、CM・舞台美術・映画美術展・アートブックなど幅広い分野で活動。著書に『THE HOT SET』（メディアファクトリー）『TRIP for the FILMS』（角川書店）自伝的絵本『どこか遠くへ』（小学館）などがある。また、2008年5月から1年間三鷹の森ジブリ美術館で展示された『小さなルーヴル美術館』展の美術監督もつとめた。（同展は2010年4月17日から12月5日までメルシャン軽井沢美術館で開催された。）公開待機作として、2011年10月29日より『ステキな金縛り』（三谷幸喜監督）2011年9月台湾にて『Seediq Bale』（ウェイ・ターション監督）2012年中国にて映画『13 Flowers of Nanjing』（チャン・イーモウ監督）などがある。

主な作品：

美術監督/Production Designer 作品

- ・『13 Flowers of Nanjing』＜張芸謀（チャン・イーモウ）監督＞（2011）2012年中国公開予定
- ・『ステキな金縛り』＜三谷幸喜監督＞（2010）2011年10月29日公開予定
- ・『Seediq Bale』＜魏徳聖（ウェイ・ターション）監督＞（2010）2011年秋台湾公開予定
- ・『悪人』＜李相日監督＞（2009）
- ・『空気人形』＜是枝裕和監督＞（2008）
- ・『ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ』＜根岸吉太郎監督＞（2008）
 - *第33回日本アカデミー賞最優秀美術賞受賞
 - *第64回毎日映画コンクール優秀美術賞受賞
- ・『アマルフィ 女神の報酬』＜西谷弘監督＞（2008）
- ・『昴 - スバル - 』＜李志毅（リー・チーガイ）監督＞（2007）
- ・『ザ・マジックアワー』＜三谷幸喜監督＞（2007）
 - *第32回日本アカデミー賞優秀美術賞受賞
 - *第3回アジアフィルムアワード美術監督賞ノミネート
- ・『怪談』＜中田秀夫監督＞（2006）
- ・『フラガール』＜李相日監督＞（2006）
 - *第30回日本アカデミー賞優秀美術賞受賞
 - *第61回毎日映画コンクール優秀美術賞受賞

- ・『SILK』 <Su-ChaoPIN 監督> (2005) (06・台湾公開)
 - ・『THE 有頂天ホテル』 <三谷幸喜監督> (2005)
 - *第 30 回日本アカデミー賞優秀美術賞受賞
 - *第 61 回毎日映画コンクール優秀美術賞受賞
 - ・『いま、会いにゆきます』 <土井裕泰監督> (2004)
 - ・『69 Sixty Nine』 <李相日監督> (2003)
 - ・『花とアリス』 <岩井俊二監督> (2003)
 - ・『イノセンス』 <押井守監督> (2002)
 - ・『KILL BILL Vol.1』 <クエンティン・タランティーノ監督> (2002)
 - *米国美術監督協会最優秀美術賞ノミネート
 - ・『フィラメント』 <辻仁成監督> (2001)
 - ・『冷静と情熱のあいだ』 <中江功監督> (2001)
 - ・『ほとけ』 <辻仁成監督> (2000)
 - ・『死国』 <長崎俊一監督> (1999)
 - ・『千年旅人』 <辻仁成監督> (1999)
 - ・『不夜城』 <李志毅(リー・チー・ガイ)監督> (1998)
 - *第 22 回日本アカデミー賞優秀美術賞受賞
 - *第 18 回香港電影金像獎最優秀美術監督賞受賞
 - ・『ドッグズ』 <長崎俊一監督> (1998)
 - ・『香港大夜總會』 <渡辺孝好監督> (1997)
 - ・『スワロウテイル』 <岩井俊二監督> (1996)
 - *第 20 回日本アカデミー賞優秀美術賞受賞
 - ・『ロマンス』 <長崎俊一監督> (1995)
 - ・『ふ・た・り・ぼ・っ・ち』 <榎戸耕史監督> (1989)
 - ・『ノイバウテン：半分人間』 <石井聰互監督> (1986) ほか多数
- 美術監修 他
- ・『ゴースト もういちど抱きしめたい』 <大谷太郎監督> (2010) 美術アドバイザー
 - ・『BANDAGE』 <小林武史監督> (2008) 美術スーパーバイザー
 - ・『西の魔女が死んだ』 <長崎俊一監督> (2008) 美術監修
 - ・『日本沈没』 <樋口真嗣監督> (2006) 美術アドバイザー
 - ・『夜のピクニック』 <長澤雅彦監督> (2006) コンセプトデザイン
 - ・『双生児』 <塚本晋也監督> (1999) 美術プロデュース
 - ・『スキ!』 <渡邊孝好監督> (1990) 劇中絵画制作
 - ・『稲村ジェーン』 <桑田佳祐監督> (1990) キャラクターデザイン
- TV PROGRAM
- ・『カンプリア宮殿』 <テレビ東京> (2006 より・毎週木曜 22 時～現在放送中)
 - ・『私立探偵 濱マイク』 <日本テレビ> コンセプトチャル・デザイン (2002)
 - ・『嫉妬の香り』 <テレビ朝日> イメージ・デザイン (2001)
 - ・『夫婦漫才』 <TBS> 美術プラン (2001) ほか多数

COMMERCIAL FILM

- ・パナホーム/大塚製薬/サントリー/SONY/日本コカコーラ/ミスタードーナツ/NTT ドコモ/コーセー/NTT 西日本/TBC/ハウス食品/HONDA/日清フーズ/ライオン/任天堂/三菱 UFJ 証券 ほか多数
- ・『どこか遠くへ』 <小学館> (2009)
- ・『TRIP for the FILMS』 <角川書店> (2008)
- ・『THE HOT SET』 <メディアファクトリー> (2007)
- ・『The Art of かまいたちの夜2 三日月島』 <チュンソフト> (2002)
- ・『辻仁成 + 種田陽平式 映画づくりの旅』 <世界文化社> (2002)
- ・『TOWN for the FILMS』 <角川書店> (1998)

EXHIBITION

- ・愛媛県美術館 『借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展』 (2011.04.03 ~ 06.12 展示)
 - ・東京都現代美術館 『借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展』 (2010.07.17 ~ 10.03 展示)
 - ・メルシャン軽井沢美術館 『小さなルーヴル美術館』 展 in 軽井沢 (2010.04.17 ~ 12.05 展示)
 - ・Installation Art 『TANEDA ' S COOLSINGEL CUBE』 in Rotterdam (2010.01.26 ~ 06 月展示)
 - ・三鷹の森ジブリ美術館 企画展示 『小さなルーヴル美術館』 展 (2008.05.24 ~ 2009.05.10)
 - ・長崎ハウステンボス 『灯りのまつり ファントマティーク』 (2007 ~ 2009 毎年夏に開催)
 - ・『ブラボーSASEBO フェスティバル』 (2004) プロデュース、ロゴ・デザインほか <長崎県佐世保市>
 - ・『イノセンス 都市の情景展 Scenery of Cities from INNOCENCE』 (2004) 展示監修 <森都市未来研究所 六本木ヒルズ>
 - ・『冷静と情熱のあいだ アートビジュアル展』 (2001) <フジテレビシアターモール>
 - ・写真展 『つくって、撮った、偽景展』 (2001) <東京ミノルタスペース>
 - ・日本建築展 『Toward Totalscape』 (2000) 絵画出品 <オランダ建築博物館>
 - ・映画美術展 『Town for the FILMS-From City Into Village』 (2000) <オランダ建築博物館>
- ほか多数

STAGE

- ・『ベッジ・パードン』 <作・演出：三谷幸喜> (2011) 世田谷パブリックシアター
- ・『二人の女兵士の物語』 <作・演出：坂手洋二> (2004) 新国立劇場 小劇場 (LOFT 公演)
- ・『お迎え準備』 <作・演出：斉藤久志> (2000) 中野 MOMO オープニングフェスティバル作品

OTHERS

- ・CDアルバムジャケット 一青窈 『花連街』 イラストレーション
 - ・ゲーム・ソフト 『かまいたちの夜2』 美術監督
 - ・ビデオ (美術) 『中島みゆき 夜会 vol.7 vol.8』 <根岸吉太郎監督>
 - ・店舗デザイン 『bar LEM』
- ほか多数

広報用素材

番号	タイトル	
1		タイトルロゴ ピンク優先でお願いします。
2		タイトルロゴ横 が使用できない場合のみ / ピンク優先で お願いします。

番号	ビジュアル	必須クレジット等
3		「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW ビジュアル1点のみの場合は基本的に、こちらのご使用をお願いいたします。
4		「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW 横ビジュアルが必要な場合のみ。 トリミング、文字のせ不可です。
5		「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW 縦ビジュアルが必要な場合のみ。 トリミング、文字のせ不可です。
6		種田陽平 トリミング可・人物が種田陽平氏ということが分かる ようにキャプションで種田陽平 と入れて下さい。
7		展示イメージ イラスト：種田陽平 ©2010 GNDHDDTW © Yohei Taneda 展示室内のイメージです。種田陽平氏が描きました。 単独使用不可。
8		アリエッティの部屋 ©2010 GNDHDDTW Production Design Yohei Taneda 東京展の展示室画像（アリエッティの部屋）です。 巡回展もほぼ同様の展示になりますが、巡回展展示室ではありませんので、ご理解の上、ご使用下さい。クレジットご注意ください。 単独使用不可。

借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展

営業・広報グループ 宛
F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	必須クレジット等
1	タイトルロゴ
2	タイトルロゴ 横
3	「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW
4	「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW
5	「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW
6	種田陽平
7	展示イメージ イラスト：種田陽平 ©2010 GNDHDDTW © Yohei Taneda
8	アリエッティの部屋©2010 GNDHDDTW Production Design Yohei Taneda

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)	組	名	希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。
本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。
本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。